

第 86 号

2013年11月

ラルーラ通信

＜発行＞
中部学院大学
子ども家庭支援センター
〒504-0837 岐阜県
各務原市那加甥田町30-1
Tel.058-375-3605
fax058-375-3609



“ヴォイス・アルバム” を作りませんか？

中部学院大学短期大学部幼児教育学科 教授
杉山 祐子

皆さん、毎日の生活の中で子どもさんの成長について、新発見の連続のことでしょう。身体と同じように、実は声も成長し変化していきます。人間が初めて発するのは「産声」ですね。新沢としひこ詞「世界中の子どもたちが一度に泣いたら～♪」ならぬ、なんと世界中の赤ちゃんの産声はほぼ、440ヘルツの「ラ」の高さと言われています。この一点張りの泣き声から、喃語になり、どんどん声域が広がります。「キャーッ」という金切り声は赤ちゃんにとって“声の大冒険！”。子どもは周りの反応（ほめられること、びっくりされること）が嬉しくて、しゃべったり歌ったりしながら声も個性となります。だってどんなに多くの子どもの中でも、どんなに遠くからでも、わが子の声はパッとキャッチできますものね！それに、声は心の模様。わが子の声の調子で、微妙な気持ちの変化を感じ取っていることでしょう。

私の子育て中、あるテレビ番組を見て感嘆したことで、Y女優が大人になった自分にご両親からプレゼントしてもらったものは“フォトアルバム”ならぬ“声のアルバム”のカセットだったそうです。なんてユーモラスで楽しい両親だろう！と、Y女優は感激したそうです。私もすぐに“ヴォイス・アルバム”作りを始めました。写真同様、日々変化していくかわいい声が大人の声になるまで、今からでもぜひ残してみませんか。ビデオで、映像とともに声も残っているとは思いますが、私のお勧めはやはり「音声のみ」です。しかもイベント中心ではなく“日常ヴォイス”です。今は小型のヴォイスレコーダーや、携帯の録音機能も便利で、さりげなく気づいたらこまめに録音してみましょう。カメラを構えるビデオと違って、自然体で自由な“姿”ならぬ“声”が採れますよ。遊んでいるときのつぶやき、食事の時の会話などありふれていると思っても、後になって聞いてみると、こんな時があったんだなあ、とその姿が脳裏に浮かびます。映像がない分、手軽に聞けますし、かえって自分の中の記憶と鮮明にリンクしますよ。私の時代はMD録音し、それを編集しました。たまに見つかって「これなーに？」「お母さん、録音してるのー？」と苦笑いでしたが、高校卒業まで少しづつですがたまりました。

こうして制作した“ヴォイス・アルバム”は、どうでしょうか。わが子が小学校5年生の時、2歳で歌った「ウルトラマンのうた」を聞かせたことがあります。子どもは自分の声に照れっぱなし！でもそこから「僕はウルトラマンが大好きだったよね、怪獣の名前、全部覚えたのに忘れちゃったなあ。もうあの本やフィギュア無いよねえ。」と自分の2歳の姿を振り返っていました。自分のアイデンティティーは、自分の足跡の上にあると心理学の神田英雄は述べています。ご両親の手間と愛情のこもった“ヴォイス・アルバム”は、わが子の難くなる年頃に、お母さんの切り札？お札？になるかもしれませんよ。何より、子どもとともに残っているお母さんの声にも耳を傾けてください。子どもにいっぱい声をかけて、子育て頑張っているキラキラした“あなた自身”がそこに残っています。



毎月の催しの様子

各年齢毎の親子サロンを始め、毎月 10 種類以上の催しを開催しています。今年の各催しの様子をピックアップしてお知らせします。

「げんきサロン」(2歳児の親子対象)

広いホールでげんきいっぱい身体を動かして遊んでいます。ここでもそれぞれのお子さんの興味・発達に応じて自由に参加できるようにプログラムを決めています。そこに更に遊びを楽しくするために、時々ルールや約束を作り遊びを広げています。この頃は並んで待ちワクワクしながら交代で遊具を使って楽しむ姿も多く見られるようになってきました。



「にっこ広場」(1歳児の親子対象)

広いホールで身体を動かして親子で遊びます。それぞれのお子さんの興味・発達に応じて自由に過ごせる空間を大切にしています。みんなで同じ遊びをする中で少しずつ外の環境(友だち・物など)の刺激を受けて遊びも広がっていきます。



「赤ちゃんサロン」(0歳児の親子対象)

お母さん方のコミュニケーションの場となり毎月顔を合わせるのが楽しみになっています。身近な物を使ってのおもちゃ作りも好評です。先月は、偶然ハロウィンの日と重なり可愛く仮装しての記念撮影となりました。



「お母さんのためのリフレッシュ講座」

最初の 10 分程度の時間で簡単な説明をしその後はお子さんと一緒に遊びながらじっくりと時間をかけて作品を仕上げます。少しずつ時間をかけて作り上げた作品は何よりステキな宝物です。



「みんなで遊ぼう！」 「ランチタイムコンサート」

学生企画の催しもしっかりと定着しそれを楽しみにして来てもらえるようになりました。

木のおもちゃ 「うだつみき」と「TSUMIBOBO」

美濃市のうだつをモチーフにした「うだつみき」という積木が仲間入りしました。この遊具は岐阜県立森林文化アカデミーの学生さんの作品が商品となりました。岐阜県内産の檜を使った手触りも色合いも優しい遊具です。同じく 県内産の樹木に拘った「つみぼぼ」。飛騨高山に古くから伝わる「さるぼぼ」をモチーフにした積木です。こちらは既にラ・ルーラではお馴染みで組体操のように積み上げ楽しんでます。(下の写真はラ・ルーラ内の掲示板に、誰かが飾ってくれた実際の作品です。)

いつもと違った遊びが出来るそうです。



「クリスマス会」のお知らせ



12月17日(火) (12:20~13:10)

今年は「みんなで一緒にクリスマス！」がテーマです。

今年はたくさんの方々とみんなで楽しめるクリスマス会を考えています。たくさんの学生も交えて歌ったり踊ったりして大勢で楽しいひとときを過ごしたいと思っています。「クリスマス会招待状」も用意します。どうぞお楽しみに！

人数把握のため完全受付とします。受付申し込みは12月3日(火)より。招待状をお渡ししますので直接ラ・ルーラまでおこしてください。

「お店屋さんごっこ」のお知らせ

12月7日(土) (11:00~)

こちらも毎年楽しみな年の終わりの催しです。

品物を、少しずつみんなで作ってストックし「お店屋開店」当日に備えます。品物はけん玉・サイコロ・ボーリングなどのおもちゃ、帽子やリボン・バックなどの装飾品、ガラガラやボールなどの赤ちゃん用のおもちゃなど様々です。

今年はどんな品物が並ぶことでしょうか。紙のお金も用意します。「いらっしゃーい!」「これくださーい。」とみんなで売り買いして楽しみましょう。



ラ・ルーラ季節 たより

「親子で見つける小さな自然Ⅱ」



先月末、畑のサツマイモの出来具合と天候をみながら、二日間に渡って「サツマイモ掘り」を楽しみました。

ラ・ルーラの芋ほりは、毎年畑のサツマイモのツルを引き抜くことから始まります。なかなか抜けないツルに奮闘し「うんとこしょ、どっこいしょ!」とどこからか声があがります。大人が真剣にツルを引き抜くこと4~5分。ツルと一緒にズルズルっとイモも抜けると、やっと子どもも「何だかおもしろそう…」と目が輝き始めます。スコップで土を掘りたくさんのイモを掘りました。ふかしイモにおイモご飯、スイートポテトにイモきんとんなどきつと美味しい料理が食卓に並んだことでしょうか。



ママと一緒に自分で掘ったサツマイモ。大小様々なおイモにはそれぞれに掘った時のドラマがありどれも思い出がいっぱいです。





＜ラ・ルーラ開設日＞火・水・木・金・土曜日（時間 10:00～16:00）



催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

12 月の予定						
日	月	火	水	木	金	土
1 休み	2 休み	3 おはなし広場 11:00～11:30	4	5 11:00～ お母さんのための リフレッシュ講座	6	7 お店屋さんごっこ 11:00～12:00
8 休み	9 休み	10 10:30～ 子育て実践 プログラム	11 げんきサロン 11:00～12:00	12	13 11:00～ 移動図書館 (読み聞かせ)	14
15 休み	16 休み	17 クリスマス会 12:30～13:00	18	19 にこにこ広場 11:00～12:00	20 12:50～ ランチタイム コンサート	21
22 休み	23 休み	24 12:50～ ランチタイム コンサート	25 赤ちゃんサロン 11:00～12:00	26 12月の誕生会 11:00～11:30	27 休み	28 休み
29 休み	30 休み	31 休み	1/1 休み	2 休み	3 休み	4 休み

*毎日 11 時頃にお話しの時間があります。

*各サロン・子育て実践プログラム等、ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。
尚、各行事は定員 15～20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609

12月27日～1月4日までは年末年始のためラ・ルーラはお休みです。

12月の行事 各サロンの内容紹介

- 3日 おはなし広場** 絵本・エプロンシアター・ペープサート・パネルシアターなど
様々なお話の世界を楽しめます。
- 5日 お母さんのためのリフレッシュ講座** 編み物（シュシュまたは小花）
- 7日 みんなで遊ぼう！ お店屋さんごっこ** 詳細 前ページ参照
(担当サークル：ラ・ルーラファクトリー)
- 10日 子育て実践プログラム**
子育てにいっぱいのおれあいタイム！～わらべうたで親子楽しくコミュニケーション
中部学院大学短期大学部 幼児教育学科 教員 Dalrymple(ダーリンブル)親子
- 11日 げんきサロン（2～3歳児対象）** 新聞遊び
- 13日 移動図書館・読み聞かせ** 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ
- 19日 にこにこ広場（1歳児対象）** 親子ふれあい遊び（広いホールで動き回って遊びます。）
- 10・20・24日 ランチタイムコンサート** 吹奏楽部員（学生）による ミニコンサート
- 25日 赤ちゃんサロン（0歳児対象）** 親子ふれあい遊び & 交流
- 26日 誕生会** 12月生まれのお友達を みんなで祝います。

